



イタリア家具工業連盟が第 21 回国際トリエンナーレ展 2016 と契約

ミラノ万博 2015 に続き、来る 2016 年、ミラノは建築とデザインのための一大イベントの開催を予定。ズナイデロ社長は「トップバッターとしてこのイベントと契約を結んだことを誇りに思う」とコメントした。

2015 年度の株主総会で、**イタリア家具工業連盟は、ミラノ・トリエンナーレ主催の第 21 回国際トリエンナーレ展 2016 の参加を表明した。**開催期間は 2016 年 4 月 2 日から 9 月 12 日の予定。国際的イベントが次々と催されるミラノは、**国際都市**として世界中から刺激を受け、その才能を最大限に活用する能力を持つ町である。

外務省、ミラノ・トリエンナーレ、イタリア工業連盟（経団連）と連携し、**イタリア家具工業連盟はイタリアのホーム・ファースニングシステムの推進力**となって第 21 回トリエンナーレ展の強力な後ろ盾となってサポートする。

パオロ・ジェンティローニ外務大臣は「イタリア政府はこの展覧会の協力者を全面的に支援し、外務省は「メイド・イン・イタリア」を経済的支援だけでなく政府関連ネットワークを有効活用しながら精力的に推進していく。デザインはビジネス、テクノロジー、文化の融合であり、イタリアはこれらの分野に長けていることから輸出に大きな功績をあげてきた。」

2016 年 Salone del Mobile.Milano (ミラノサローネ国際見本市) が開催される 4 月 12 日～17 日のほんの数日前から、第 21 回トリエンナーレ展「21 世紀、デザイン・アフター・デザイン展」はスタートする。デザインは世界市場に於いても重要な要素であり、めまぐるしい変化と革新に迅速に対応する生産制度の必要性が求められる中、この展覧会では、その重要さにスポットライトを当てる。その一環として、**イタリア家具工業連盟は、「The new Italian domestic landscape」**をテーマにした国際展覧会を開催する予定。

「我々の参加が、この偉大なるイベントのトップバッターとして表明できることを大変光栄に思う。」とイタリア家具工業連盟会長のロベルト・ズナイデロ氏は語る。「50 年を超える Salone del Mobile.Milano (ミラノサローネ国際家具見本市)は、企業の伝統的歴史と共に、我々に情熱、革新、そしてデザインを与えてくれた。我々の歴史は、ミラノのエネルギーと創造力が生み出したイタリア木工家具業界の起業家的能力に支えられてきた。同時に世界中からデザインのアイデアや刺激も受けてきた。」

ミラノ市とデザインは長い歴史の中で切っても切れない関係にある。そして今、21 世紀のデザインは更に急速に増え続け、建築、都市計画、デザイン、ランドスケープ、コミュニケーションとヴィジュアル・アートとの新しい境界が生まれつつある。

「Salone del Mobile や MADE expo というミラノが誇る 2 大イベントの主催者であるイタリア家具工業連盟の参加と支援を、我々は大変嬉しく思っている。」と語るのは、ミラノ・トリエンナーレ美術館館長のクラウディオ・デ・アルベルティス。「我々は、イタリア家具工業連盟に続く更なる支援者を期待している。イタリアはこれらのイベントをビジネスに結びつけられることを世界に証明してきた。今日、新たな大きな一歩に踏み出し、2016 年のイベントの成功に向けて更なる努力を惜しまないつもりだ。」

第 21 回国際トリエンナーレ展は、ミラノのクリエイティブなパワーと外部からの刺激が相互に影響し合う、新しいショーケースとなることを約束する。

「イタリア工業連盟のメンバーであるイタリア家具工業連盟が、第 21 回国際トリエンナーレ展へいち早く参加表明したことを大変嬉しく思う。」と、語るのはイタリア工業連盟のジョルジョ・スクインツィ会長。「近年、イタリア家具工業連盟が披露してきたデザイン、建築、建築システムは、革新とサステイナブルに特に焦点を当てながら、不況とどう共存するかという、素晴らしいモデルとなってきた。例えば MADE Expo では、長年にわたり、未来を見据えるデザインと建設のための見本市としてその地位を確立してきた。」と締めくくった。

2015 年 6 月

Press info: press@federlegnoarredo.it